



## ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>  
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

**0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

\* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161  
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用  
はできませんのでご了承ください。



F 016 L94 179

(1619JT0814)

F 016 L94 179 (2021.01)

## Fontus 18V



### 取扱説明書

このたびは、弊社コードレス洗浄機をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお  
使いください。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお  
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。  
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



# 目次

●安全規則.....	3
警告表示の区分 .....	3
一般安全規則.....	3
洗浄機に関する安全規則.....	8
記号について .....	8
●安全上のご注意.....	9
コードレス電動工具全般についての注意事項 .....	9
洗浄機についての注意事項.....	14
●本製品について.....	18
用途.....	18
各部の名称.....	19
標準付属品.....	20
仕様.....	22
●使い方.....	24
バッテリーを準備する .....	24
作業前の準備をする.....	28
作業する .....	36
●バッテリーを長持ちさせるために.....	42
●リサイクルのために .....	42
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください .....	42
●お手入れと保管.....	43
フィルターの清掃.....	43
運搬.....	45
収納.....	46
保管.....	47
長期間使用しないとき、または冬季の保管 .....	47
電動工具(本体)の廃棄について .....	49

安  
全

本  
製  
品  
に  
つ  
い  
て

使  
い  
方

バ  
ッ  
テ  
リ  
ー  
に  
つ  
い  
て

お  
手  
入  
れ  
と  
保  
管

困  
っ  
た  
と  
き  
は

● 困ったときは .....	50
故障かな?と思ったら.....	50
修理を依頼するときは.....	52

安

全

つ本  
い製  
て品

使  
い  
方

つバ  
いッ  
てテ  
リ  
ー  
に

保 お  
手  
入  
れ  
と  
管

困  
っ  
た  
と  
き  
は

# 安全規則

## 警告表示の区分

ご使用上の注意事項は 、、 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 一般安全規則

### 警 告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。

下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。

下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式（コード付き）電動工具または、電池式（コードレス）電動工具を示します。

次の事項を順守してください。

## a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。  
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

## b) 電気的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。  
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。  
身体が接触すると、感電する危険が増大します。  
屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。
- 3) 電動工具、バッテリーは、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。水が入ると、感電する危険が増大します。
  - ◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。
- 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。
  - ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
  - ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理を依頼してください。お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。
  - ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

## c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
  - ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。
  - ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります
- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。
  - ◆ 回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておくと、人的傷害の原因になります。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関する危険を低減することができます。
  - ◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。

## d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
  - ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
  - ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
  - ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
  - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- 3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具本体からバッテリーを取り外してください。このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱っていない人に渡すと、危険です。
  - ◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
  - ◆ 鍵のかかる所に保管してください。
- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各 부품の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。
- 6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。

電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。

  - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
- 8) 電動工具は、25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

## e) コードレス電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。
- 2) 弊社が指定した充電器だけで再充電してください。バッテリーに適さない充電器を用いると、火災の危険があります。
- 3) 電動工具は、指定された専用のバッテリーのみを使用してください。指定外のバッテリーを使用すると、人的被害および火災をもたらす恐れがあります。
  - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
- 4) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなど、バッテリー端子を短絡させる恐れのある金属物から離してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災をもたらす恐れがあります。
- 5) 過酷な条件のもとでは、バッテリーから液漏れが発生する場合があります。直接触れないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れた液体は、炎症ややけどをもたらす恐れがあります。

## f) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。

- ◆ サーマン以外の方は電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。

## g) その他

- 1) この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で使用しないでください。
  - ◆ この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
- 2) 製品本体および本取扱説明書に使用されている記号の意味については、「記号について」を参照してください。



## 洗濯機に関する安全規則

安  
全

- 水の入っている水泳プールでは使用しないでください。
- 洗濯機本体に水をかけないでください。

## 記号について

本機には下記の記号が表示されています。  
記号の意味を十分理解して本機を使用してください。

	直流
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります。この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください。
	リサイクル識別表示マーク (リチウムイオンバッテリー)
	リサイクル識別表示マーク (紙製容器包装)
	リサイクル識別表示マーク (プラスチック製容器包装)

# 安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

## コードレス電動工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

### 危険

- **ボッシュ専用の充電式バッテリー以外を使用しないでください。**
  - ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
  - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。  
電動工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
- **バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。**
- **バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- **バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。**
  - ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- **コードレス電動工具本体やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・放置しないでください。**
  - ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。

- 専用の充電器以外では、充電しないでください。
  - ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。  
バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。
- バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
  - ◆ 短絡の恐れがあります。
- バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。  
また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。
  - ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

 **警 告**

- 正しく充電してください。
  - ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。
  - ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
  - ◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
  - ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
  - ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。
- 感電に注意してください。
  - ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
- 加工するものをしっかりと固定してください。
  - ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。  
手で保持するより安全で、両手でコードレス電動工具を使用できます。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

- ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。  
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 充電式でないバッテリー(マンガン乾電池等)は、充電しないでください。
- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
  - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。  
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。  
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。  
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。
  - ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。  
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。
- 作業中にコードレス電動工具本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
  - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
- 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、コードレス電動工具本体や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
  - ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
    - －できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
    - －作業場所の換気に注意してください。
    - －DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。
  - 作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。
  
- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、コードレス電動工具本体が冷めるための時間を設けてください。
  - ◆ 複数個による連続作業は、コードレス電動工具本体に支障をきたすばかりでなく、コードレス電動工具本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
  
- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者 の 診 断 を 受 け て ください。
  - ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
  
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
  - ◆ 容易に発火する恐れがあります。
  
- 定期的にコードレス電動工具の通気口を清掃してください。
  - ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
  
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
  - ◆ 握り部が滑りやすいと、コードレス電動工具本体を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。
  
- 安全上のご注意は、必ず守ってください。
  - ◆ コードレス電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。コードレス電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

## ● 搬送について

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。

第三者が運搬する場合(例えば空輸あるいは代理店経由)、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。

### 注意

## ● 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。

## ● 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。

◆ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

## ● 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。

## ● 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

## 洗浄機についての注意事項

安  
全

コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。ここでは、洗浄機をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

### 警 告

- 水流で物の破片が飛んだときなどにけがをしないよう、作業に適した服装で作業してください。また、目を保護するため保護めがねなどを着用してください。
  - ◆ 適した服装で作業しないと、けがの原因になります。
- 使用する前に、近くに機械などがいないことを必ず確認してください。
  - ◆ 機械に水が直接当たったり、飛散した水がかかると、感電や破損の原因になります。
- 人体に有害な成分(アスベストなど)を含む物に向けて噴射しないでください。
  - ◆ アスベストは発がん性があります。
- 有機溶剤(アセトン、ガソリン、シンナー、灯油など)や有機溶剤を含む液体は使用しないでください。
  - ◆ 有機溶剤は可燃性が高く、出火や爆発の原因になります。
  - ◆ 有機溶剤は人体に有害です。
- 可燃性液体や、希釈していない酸、酸性・アルカリ性洗剤、農薬、消毒液などの不適當な液体は使用しないでください。
  - ◆ 故障や事故の原因になります。
- 内蔵式水タンクを満タンにするために、コードレス洗浄機本体を水につけないでください。
  - ◆ 本体が濡れると感電や故障の原因になります。

- コードレス洗浄機本体が破損しているときは、絶対に使用しないでください。
  - ◆ 使用すると、事故の原因になります。
- コードレス洗浄機本体を改造しないでください。
  - ◆ 改造すると、コードレス洗浄機の安全を損なう恐れがあります。
  - ◆ 改造すると、騒音や振動が増え、性能が低下する恐れがあります。
- 「電源ボタン」を押さないように注意しながら、バッテリーを取り付けたり取り外したりしてください。
  - ◆ 不意に作動すると、けがの原因になります。
- スプレーガンのトリガが引き込まれていないことを確認してから、電源を入れてください。
  - ◆ トリガが引き込まれた状態で電源を入れると、思わぬ事故の原因になります。
- コードレス洗浄機本体やバッテリー、バッテリー挿入口に水をかけないでください。
  - ◆ 濡れると感電の恐れがあります。
- バッテリー収納カバーが閉じていることを確認してから、使用してください。
  - ◆ バッテリー収納カバーが開いた状態で使用すると、飛散した水がバッテリーにかかり、感電などの恐れがあります。
- 足元をしっかりとさせ、安定した体勢でしっかりとスプレーガンを握って作業を始めてください。  
はしごの上で使用しないでください。
  - ◆ 噴射開始の瞬間に反動があります。無理な姿勢で作業を始めると、けがや事故の原因になります。
- 使用中に振り回されないよう、スプレーガンを確実に保持してください。
  - ◆ 確実に保持しないと、けがや事故の原因になります。



- バルコニーや高い場所で使用するときは、落下しないように、安全を確保してください。
- 対象物に適した距離で使用してください。また、対象物に損傷が生じる恐れがある場合は目立たない場所で試してから使用してください。  
噴射口からの距離を離して洗浄し、様子を見ながら近づけて洗浄するなど慎重に使用してください。
  - ◆ 近づけすぎた場合、破損などの原因になります。
- 車の足まわりや機械類などを洗浄するときは、グリース塗布部分やカバー部分などに直接噴射しないでください。
  - ◆ グリースなどが流れ落ちたり、損傷や重大事故の原因となる恐れがあります。
- 下記のときは、必ず電源を切ってください。また、電源を切った後、スプレーガンのトリガを握り、ポンプ内の圧力を抜いてください。
  - ・作業を中断するとき
  - ・点検するとき
  - ・付属品を交換するとき
  - ・作業を終了するとき
  - ◆ 圧力が残っていると、不意の作動でスプレーガンから残水が噴射され、けがの原因になります。
  - ◆ 電源を切らないと、ポンプからの水漏れや圧力スイッチの故障による誤作動の原因になります。
- ホースを傷つけたり、折ったりしないでください。使用する前に、ホースはまっすぐに伸ばしてください。
  - ◆ 使用中に折れているホースを無理に引っ張ると折れ曲がり、ホースが破損する恐れがあります。
- 摩擦の強い床面や、砂利・石畳などの凹凸がある床面でホースを引きずらないでください。
  - ◆ ホースの傷や破損の原因になります。

● 洗浄機から出る水を飲まないでください。

◆ 飲むと健康を害す恐れがあります。

 注 意

● 電源を入れたまま、放置しないでください。

◆ けがや事故の原因になります。

● 洗浄機は水平で安定した場所に設置してください。また、必ず地面に置き、高い所に置かないでください。

◆ 不安定な所や高い所に置くとモーターの振動で本体が倒れたり、落下したりする恐れがあります。

● 洗浄物に貼られているラベル類周辺への直射は避けてください。

◆ 高力のかかった水によりラベルが剥がれる恐れがあります。

● 保管する前に、内蔵式水タンクとホースから水を抜いてください。

安

全

# 本製品について

## 用 途

本製品はバッテリーにより作動し、噴射水は内蔵式水タンクに事前に給水するだけです。

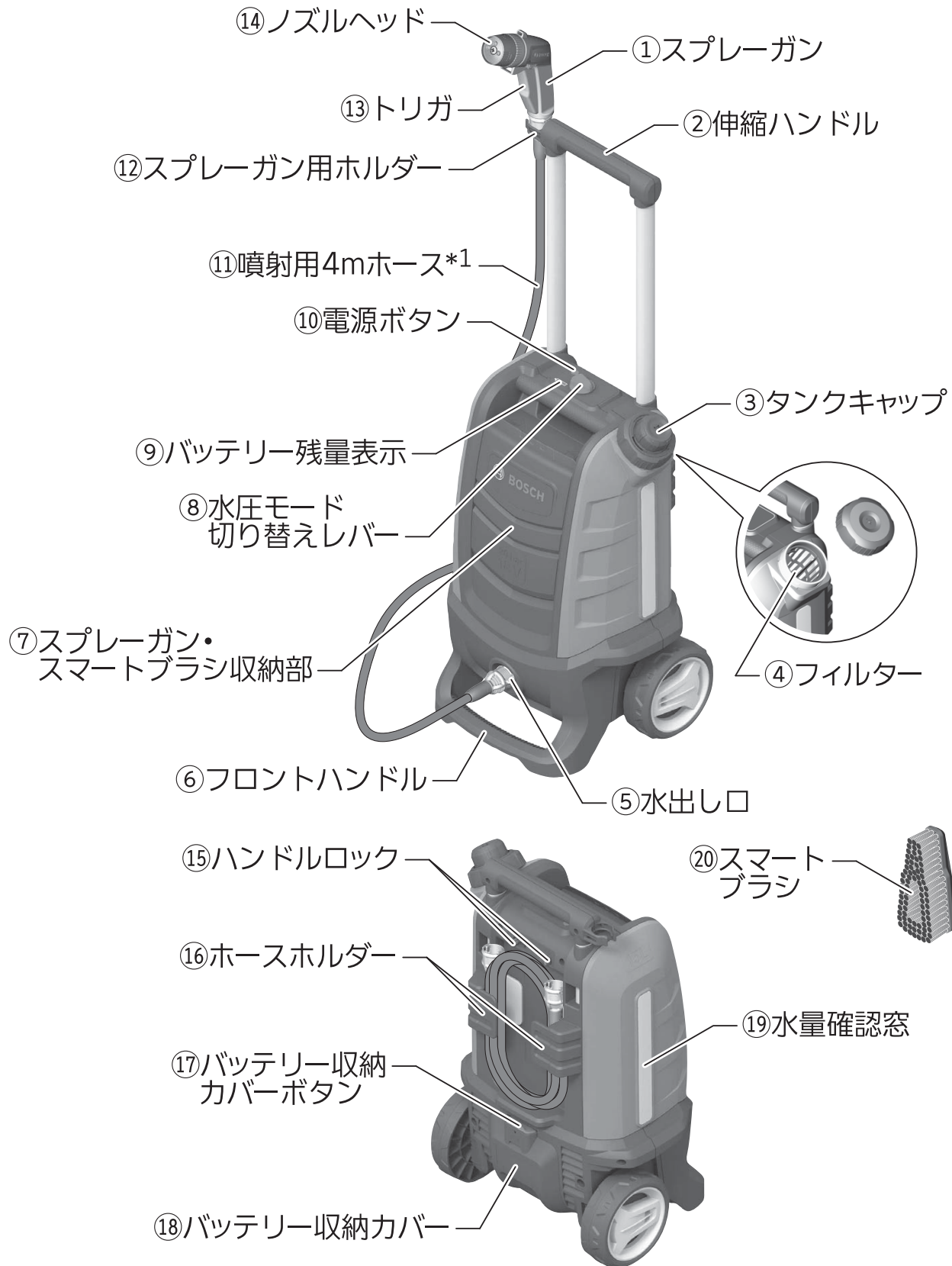
電源や水道につなぐ必要がないため、さまざまな場所で気軽に便利にご使用いただけます。

本製品について

- ◆ 自転車、バイク、車などの洗浄や泥落とし
- ◆ ベランダ、窓、網戸、ガーデン用家具、ウッドデッキ、温室などの洗浄や汚れ落とし
- ◆ 屋外玩具、ベビーカーなどの洗浄や泥落とし
- ◆ キャンプなど外出先でのアウトドア用品・ブーツなどの洗浄や泥落とし
- ◆ サーフィン板、ヨットの帆・デッキなどのマリンスポーツ用品の洗浄
- ◆ お墓周りのお掃除
- ◆ お庭の植物への水まき

※ 本製品は、ご家庭での使用を想定した製品です。

## 各部の名称



本  
製  
品  
に  
つ  
い  
て

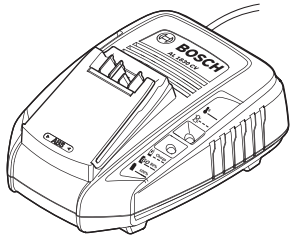
\*1 噴射用4mホース⑪の両端には、スプレーガン①と水出し口⑤に接続するための“専用ツイストコネクター”が装備されています。

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

## 標準付属品

モデル名	Fontus 18V	
型番	FONTUS218	FONTUS218H
 スプレーガン	1個	1個
 スマートブラシ	1個	1個
 噴射用4mホース	1個	1個
 フィルター(本体装着済み)	1個	1個
 リチウムイオンバッテリー*2 18V 2.5Ah	1個	—

本  
製  
品  
に  
つ  
い  
て

モデル名	Fontus 18V	
型番	FONTUS218	FONTUS218H
 充電器*2	1個	—

\*2 FONTUS218H(本体のみ)には、バッテリー・充電器は付属されておられません。別途お買い求めください。使用可能なバッテリー・充電器の品番は、ボッシュ電動工具カタログを参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

本製品に

## 仕 様

### 本 体

モデル名	Fontus 18V	
型 番	FONTUS218	FONTUS218H
メーカー製造番号	3 600 HB6 1..	
定格電圧	D.C.18V	
定格電力	170W	
吐出圧力*3	2.0 (±0.2) MPa (水圧モード強)	
内蔵式水タンク容量	15L	
1充電あたりの作業時間 (目安)*4*5 水圧モード弱 水圧モード中 水圧モード強	2.5Ahバッテリー装着時 約45分 約30分 約15分	
最高給水温度	50℃	
推奨充電周囲温度範囲	0℃～+35℃	
使用可能周囲温度範囲*6	-20℃～+50℃	
保管可能周囲温度範囲	-20℃～+50℃	
防水等級	IPX4	
質 量*7	7.5kg	
原産国	中国	

\*3 選択した水圧モードにより異なります。

\*4 作業環境により変わります。

\*5 別途、内蔵式水タンクへの給水 (水の追加) は必要です。

\*6 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

\*7 EPTAプロシージャ01/2014に準拠

本製品について


## 使用可能ボッシュ充電器

品番	AL18....*8
----	------------

## 使用可能ボッシュDIY・ガーデンツール用リチウムイオンバッテリー

品番	A18..LIG*8
	PBA.18
	PBA18V....

\*8 ボッシュDIY・ガーデンツール用に限る

 使用可能なバッテリー・充電器の品番は、ボッシュ電動工具カタログを参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

本  
製  
品  
に  
つ  
い  
て



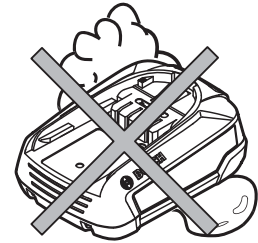
# 使い方

## バッテリーを準備する

- ☞ FONTUS218H(本体のみ)には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。  
使用可能なバッテリー・充電器の品番は、ポッシュ電動工具カタログを参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

## ● バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたたり、汚れていたたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



## ● バッテリーを充電する

充電については、充電器に付属されている取扱説明書をお読みになり、正しく充電してください。

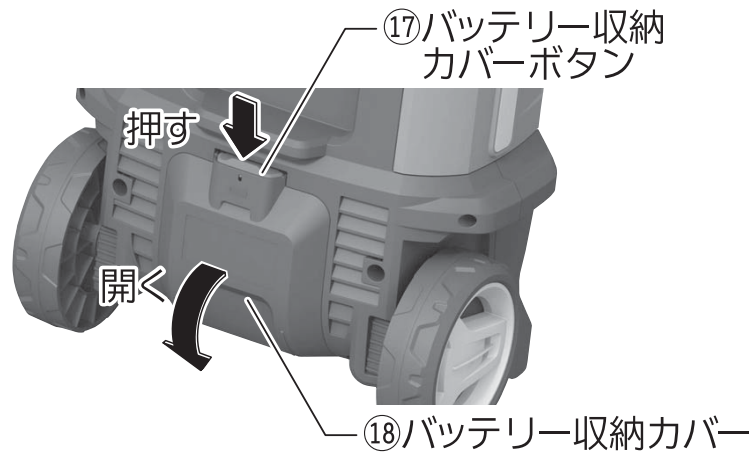
## ● バッテリーを取り付ける・取り外す



- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「電源ボタン⑩」を押さないように注意してください。

### 取り付け

1. 「バッテリー収納カバーボタン⑰」を押しながら、バッテリー収納カバー⑱を開きます。

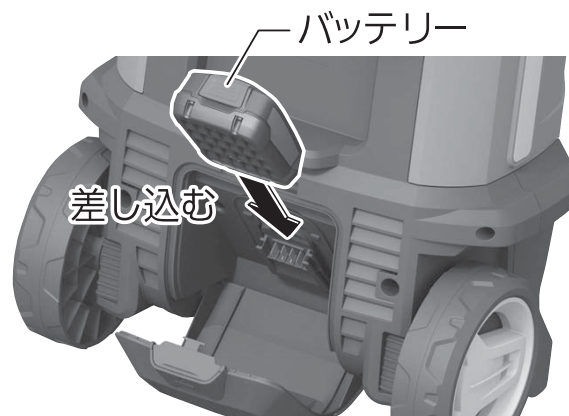


使  
い  
方

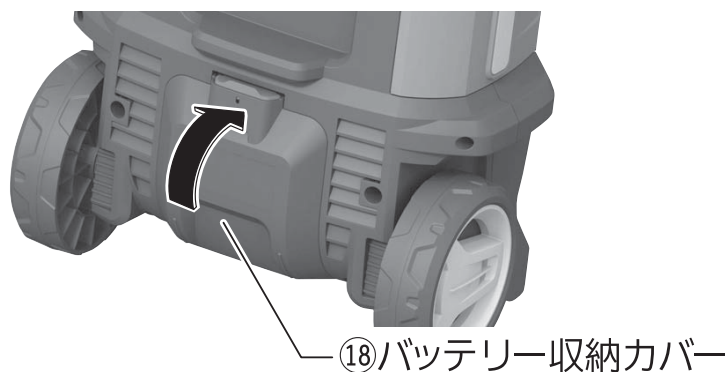
2. バッテリーのツメを、コードレス洗浄機本体のバッテリー取り付け部の溝に合わせ、矢印の方向に差し込みます。  
“カチツ”と音がするまで押し込んでください。



- ◆ バッテリーを軽く引いて、確実に取り付けられているか確認してください。



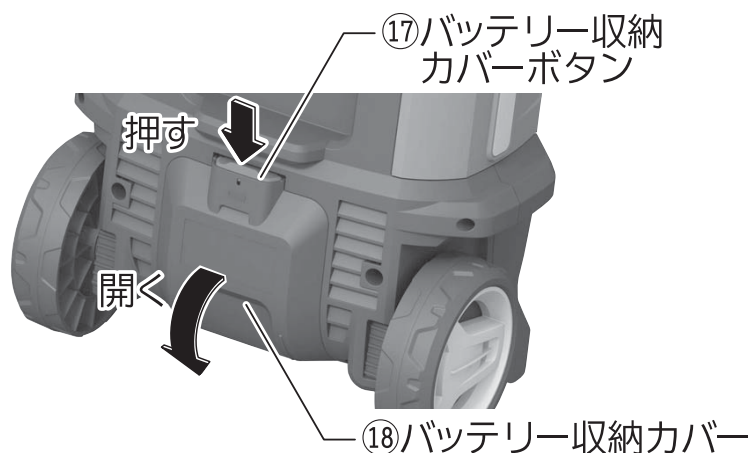
3. バッテリー収納カバー⑱を閉じます。  
“カチツ”と音がして、確実に閉まったことを確認してください。



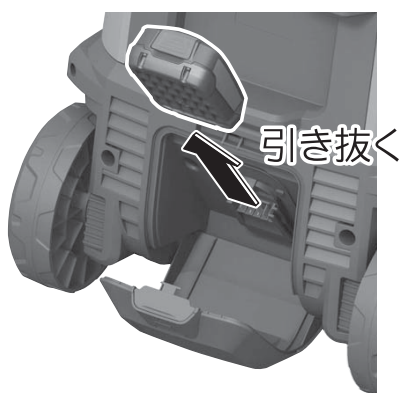
## 取り外し

使  
い  
方

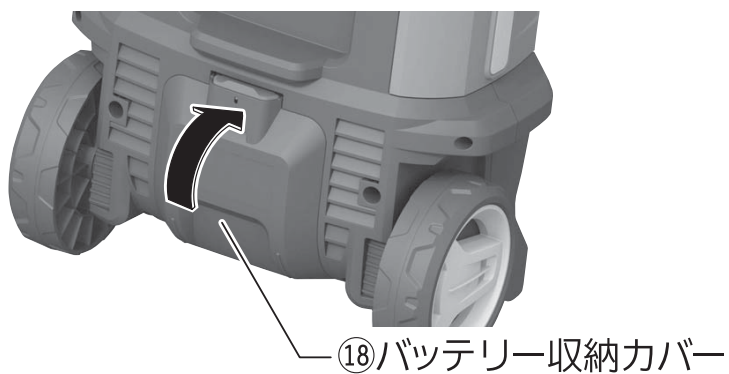
1. 「バッテリー収納カバーボタン⑳」を押しながら、バッテリー収納カバー⑱を開きます。



2. 「バッテリー取り外しボタン」を押しながら、バッテリーをコードレス洗浄機本体から引き抜きます。



3. バッテリー収納カバー⑱を閉じます。  
“カチツ”と音がして、確実に閉まったことを確認してください。



## 作業前の準備をする



- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときはバッテリーをコードレス洗浄機本体から取り外してください。

### 伸縮ハンドルを引き出す／収納する

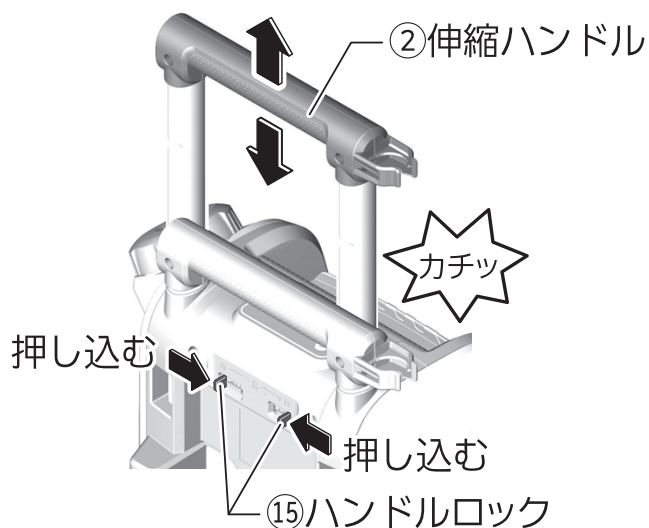
使  
い  
方



ハンドルロック⑮を内側に押し込みながら、伸縮ハンドル②を引き出したり、収納したりします。



- ◆ “カチッ”と音がして、確実に固定されていることを確認してください。



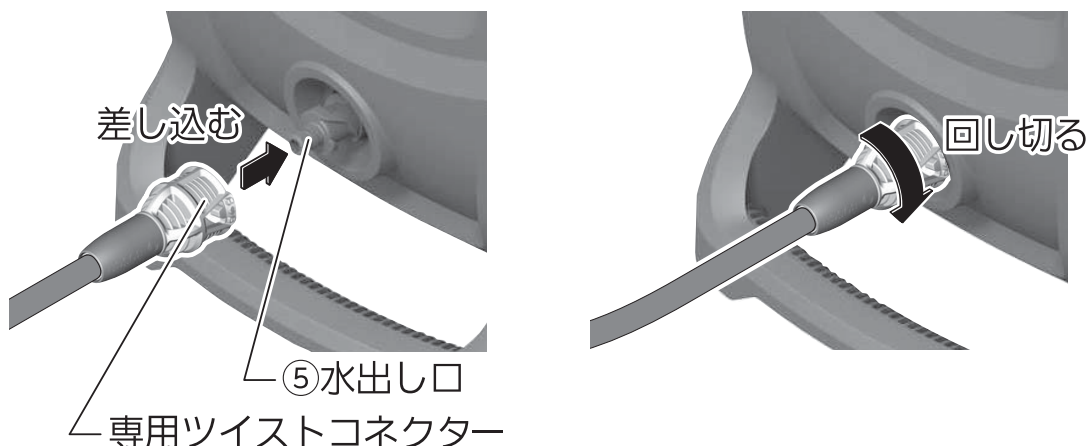
## ● 噴射用4mホースを取り付ける・取り外す

### 取り付け

1. “専用ツイストコネクター”の一方を、本体の水出し口⑤に取り付けます。

1) “専用ツイストコネクター”の突起を水出し口⑤の溝に合わせて差し込み、矢印の方向に回す。

☞ “専用ツイストコネクター”は最後まで回し切って、確実に取り付けてください。



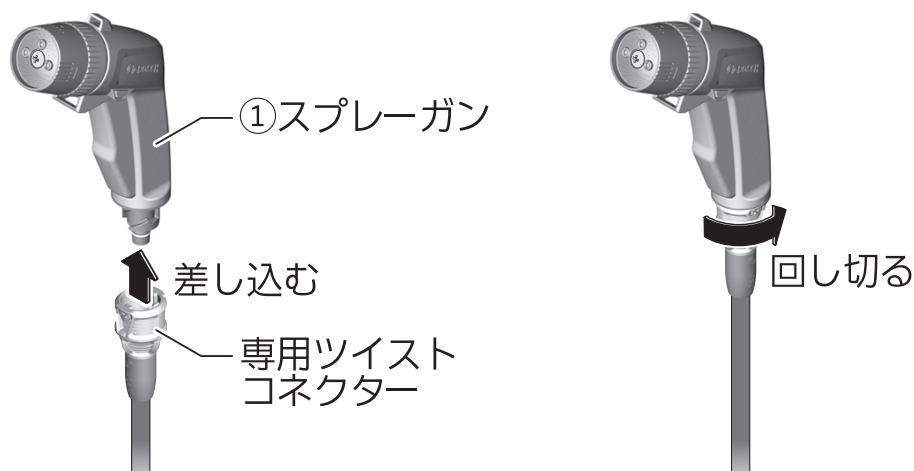
使  
い  
方

2) “専用ツイストコネクター”を軽く引いて、抜けないことを確認する。

2. “専用ツイストコネクター”のもう一方を、スプレーガン①に取り付けます。

1) “専用ツイストコネクター”の突起をスプレーガン①の溝に合わせて差し込み、矢印の方向に回す。

☞ “専用ツイストコネクター”は最後まで回し切って、確実に取り付けてください。



2) “専用ツイストコネクター”を軽く引いて、抜けないことを確認する。

## 取り外し



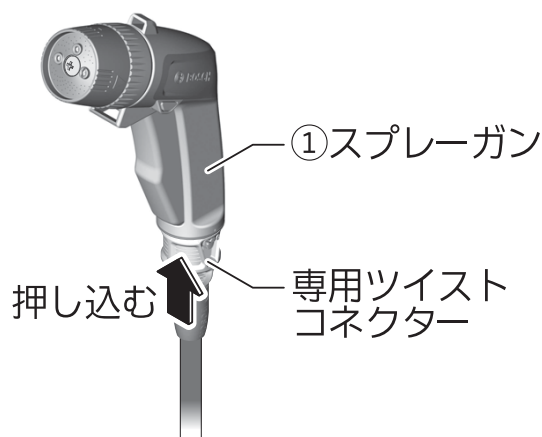
- ◆ 噴射用4mホース⑪内に水が残っていることがあります。噴射用4mホース⑪を取り外すときは、ホース内に残った水が自分や周りの人、機械などに掛からないよう注意してください。

1. 使用後に取り外すときは、下記を行います。

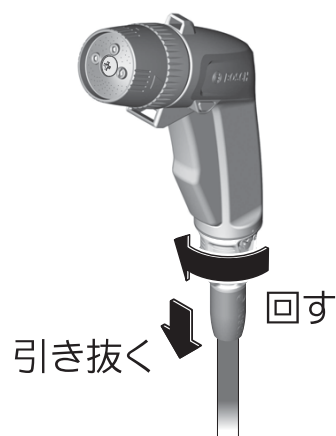
- 1) 電源が切れていることを確認する。  
電源が入っているときは、「電源ボタン⑩」を押して電源を切ります。
- 2) スプレーガン①のトリガ⑬を引き込んで、ホース内の圧力と水を抜く。

2. スプレーガン①から“専用ツイストコネクター”を取り外します。

- 1) “専用ツイストコネクター”をスプレーガン①側に押し込む。



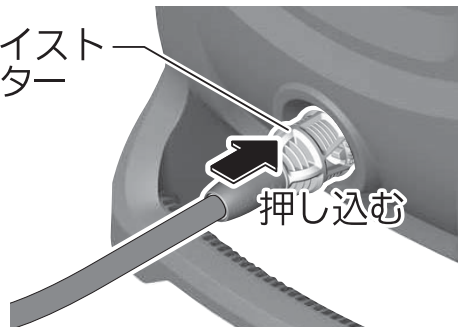
- 2) “専用ツイストコネクター”を矢印の方向に回しながら引き抜く。



3. 本体の水出し口⑤から“専用ツイストコネクター”を取り外します。

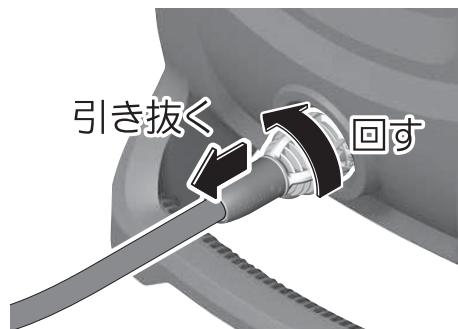
1) “専用ツイストコネクター”を、水出し口⑤側に押し込む。

専用ツイストコネクター



2) “専用ツイストコネクター”を矢印の方向に回しながら引き抜く。

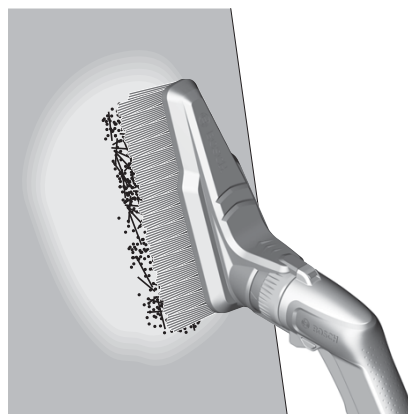
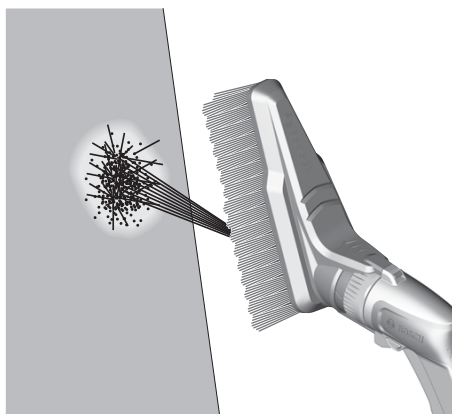
引き抜く 回す



使  
い  
方

## ● スマートブラシを取り付ける・取り外す

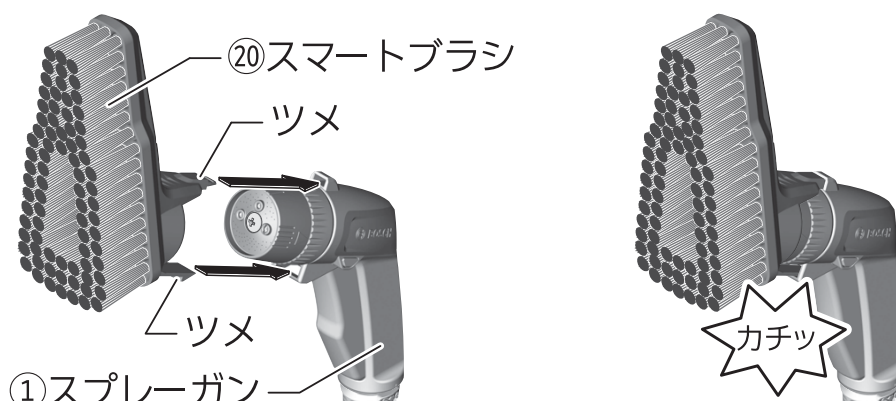
スプレーガン①にスマートブラシ②を取り付けると、より効果的に汚れを落とすことができます。





## 取り付け

1. スプレーガン①のスマートブラシ取り付け部に、スマートブラシ⑳のツメを差し込みます。“カチッ”と音がするまで押し込んでください。

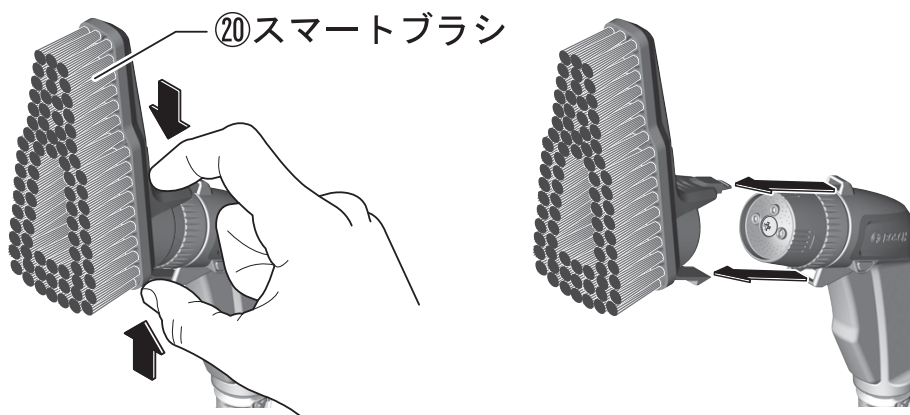


- ☞ スマートブラシ⑳は、イラストの向きで取り付けてください。スマートブラシ⑳のツメはサイズに違いがあります。イラストの向きでないと取り付けられません。

2. スマートブラシ⑳を軽く引いて、抜けないことを確認します。

## 取り外し

1. 電源が切れていることを確認します。  
電源が入っているときは、「電源ボタン⑩」を押して電源を切ってください。
  - ☞ 電源が入っていると、誤ってトリガ⑬を押してしまったとき、水を噴射する恐れがあります。
2. スマートブラシ⑳のツメを内側に押し込み、スプレーガン①から引き抜きます。



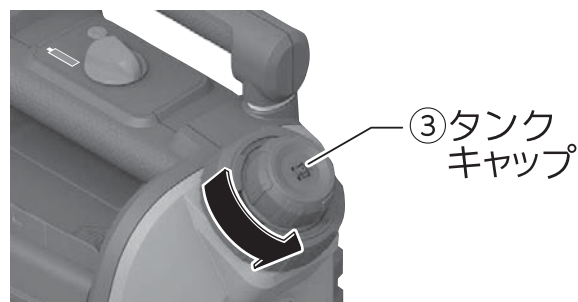
## ● 給水する



- ◆ フィルターを取り外した状態、またはフィルターが損傷している状態で、内蔵式水タンクに給水しないでください。
- ◆ 内蔵式水タンクには、新鮮な水(生理食塩水でない)以外を給水しないでください。
- ◆ 内蔵式水タンクに水が入ると、コードレス洗浄機本体は重くなります。  
コードレス洗浄機本体を移送させるときは、注意してください。

### 蛇口から給水する

1. タンクキャップ③を矢印の方向に回して取り外します。



使  
い  
方

2. 損傷していないフィルター④が取り付けられているか確認します。  
フィルター④が取り付けられていないときは、取り付けてください。  
また、フィルター④が損傷しているときは、交換してください。

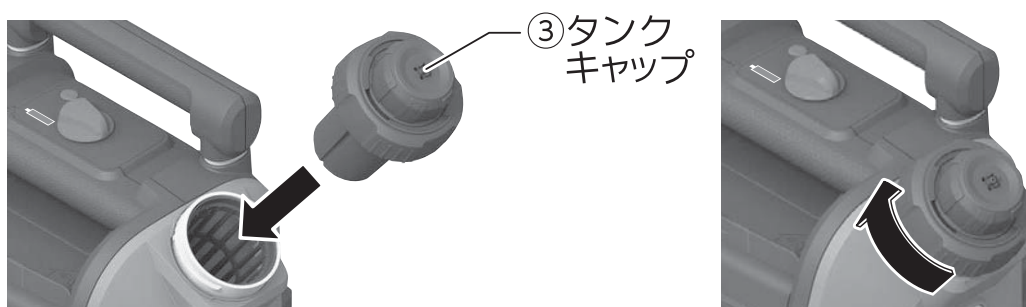
3. 内蔵式水タンクに新鮮な水を給水します。

タンク容量:15L

- ☞ 内蔵式水タンク内の水量は、コードレス洗浄機本体の左右にある水量確認窓⑱で確認することができます。



4. タンクキャップ③を取り付け、矢印の方向に回して締めます。  
タンクキャップ③は確実に締めてください。



## ホースを使用して給水する

1. タンクキャップ③の内キャップを矢印の方向に回して取り外します。

使  
い  
方



2. タンクキャップ③のホース差し込み口に、カップラー付き水道ホース(市販品)を差し込みます。

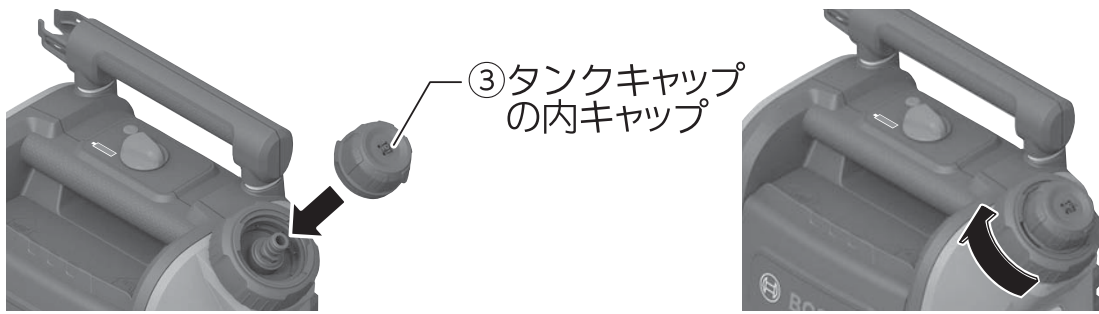


☞ 市販のカップラーおよび水道ホースをご使用ください。

3. 内蔵式水タンクに新鮮な水を給水します。  
タンク容量:15L

☞ 内蔵式水タンク内の水量は、コードレス洗浄機本体の左右にある水量確認窓⑱で確認することができます。

4. タンクキャップ③の内キャップを取り付け、矢印の方向に回して締めます。  
タンクキャップ③は確実に締めてください。



- ☞ 市販のカプラーおよび水道ホースをつないだまま作業することも可能です。  
(バッテリーの稼働時間には限りがあります。)




### 警告

- ◆ 噴射口を人や動物の顔、電気機器および本機自体に向けないでください。
- ◆ 水流で物の破片が飛んだときなどにけがをしないよう、作業に適した服装で作業してください。また、目を保護するため保護めがねなどを着用してください。
- ◆ 動物の汚れを落とすときは、噴射モードや水圧の選択に注意してください。



### 注意

- ◆ 作業を一時中断するときは、必ず電源を切ってください。切らないと、モーターが自動で再始動することがあります。
- ◆ 噴射用4mホース⑪は、巻いたまま使用しないでください。必ず伸ばして使用してください。
- ◆ 内蔵式水タンクに水がなくなったときは、直ちに電源を切ってください。
- ◆ 内蔵式水タンクが空の状態では始動しないでください。ポンプやモーターが破損します。
- ◆ 噴射用4mホース⑪を張りすぎたり、噴射用4mホース⑪を引っ張って本体を移動させたりしないでください。本体が倒れる恐れがあります。
- ◆ 噴射用4mホース⑪を折り曲げたり、車で踏んだりしないでください。また、鋭利な角などに当たらないようにしてください。
- ◆ 内蔵式水タンクに水が入っていると、コードレス洗浄機は重くなります。斜面やステップ上を移動するときは、注意してください。

 本機は、30分間連続で作業すると、自動的に停止します。

## 1 噴射用4mホースが確実に取り付けられているか確認する

噴射用4mホース⑪が取り付けられていないときは、取り付けてください。

(噴射用4mホース⑪の取り付けは、29ページ「噴射用4mホースを取り付ける・取り外す」参照)

## 2 内蔵式水タンクに、給水されていることを確認する



### 注意

- ◆ 内蔵式水タンクが空の状態では電源を入れると、故障の原因になります。
- ◆ 内蔵式水タンクの水量は水量確認窓⑱で確認できます。

### 3 本体にバッテリーを取り付ける



◆ 「電源ボタン⑩」を押さないように注意してください。

バッテリーを、本体のバッテリー差し込み口に“カチツ”と音がするまで押し込みます。

(25ページ「バッテリーを取り付ける・取り外す」参照)

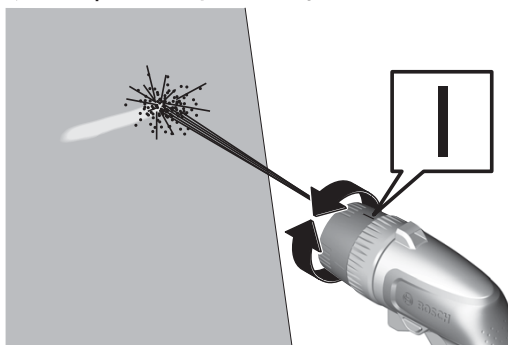
☞ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

### 4 噴射モードを選択する

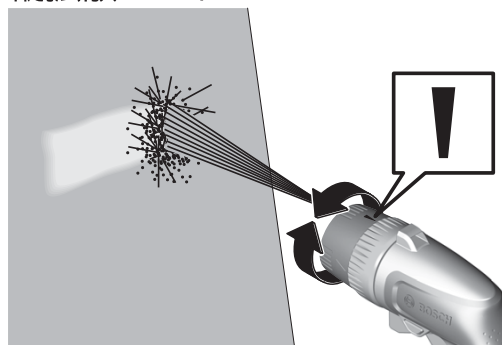
噴射モードは、ワンポイントモード( | 一点集中)、縦拡散モード( ▼ 狭角)、横拡散モード( ▼ 広角)、シャワーモード( ●●●● )の4種類から選択することができます。

ノズルヘッド⑭を回して、噴射モードを選択します。

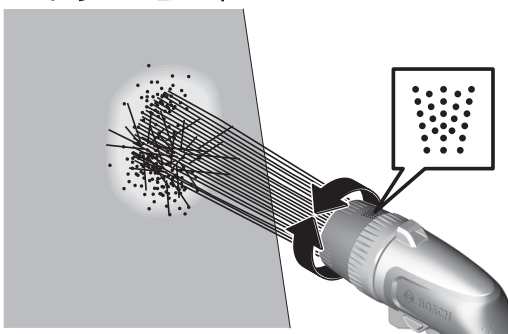
ワンポイントモード



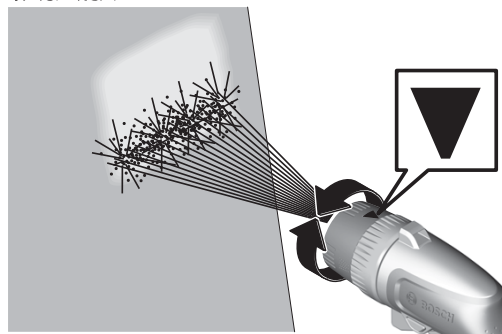
縦拡散モード



シャワーモード



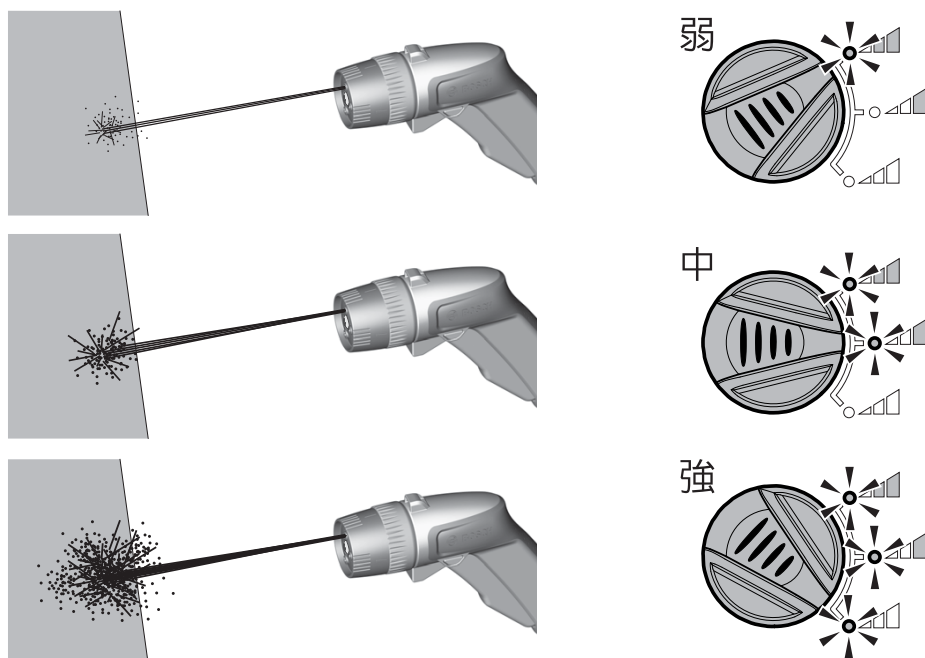
横拡散モード



## 5 水圧を選択する

水圧は、“弱”“中”“強”の3モードから選択することができます。  
水圧モード切り替えレバー⑧を回して、水圧を選択します。

☞ 水圧は“弱”で試してから順に強い圧力にすることをお勧めします。



使  
い  
方

☞ 電源を入れないと表示灯は点灯しません。

## 6 電源を入れる



**警告**

◆ スプレーガン①のトリガ⑬が引き込まれていないことを確認してから、電源を入れてください。

「電源ボタン⑩」を押して、電源を入れます。

電源が入ると、バッテリー残量表示⑨が点灯します。

また、電源が入ると、ポンプモーターが作動し、約10秒間モーター音がします。  
モーター音が止まったら準備完了です。



☞ 5分間操作しないと、自動的に電源が切れます。

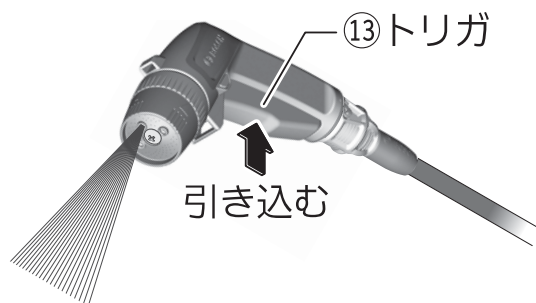
☞ 内蔵式水タンクが空の状態でもポンプが20秒以上作動すると、モーターは停止します(ドライランニング保護機能)。内蔵式水タンクが空になったときは、一度電源を切って内蔵式水タンクに給水し、電源を入れ直してください。

## 7 噴射口を下に向けてトリガを引き込む



- ◆ スプレーガン①をしっかり持ってトリガ⑬を引き込んでください。
- ◆ 周りに人や動物がいないこと、機械などがいないことを確認してから噴射してください。

水圧が安定するまで(目安として約10～20秒)噴射口を下に向けて噴射します。

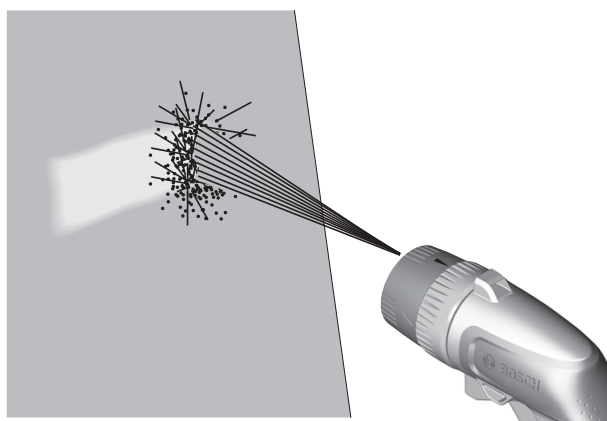


☞ 内蔵式水タンクを空にした後、給水して初めて使用する場合、水が出るまでには最大10秒かかることがあります。

## 8 対象物に噴射口を向けて洗浄する

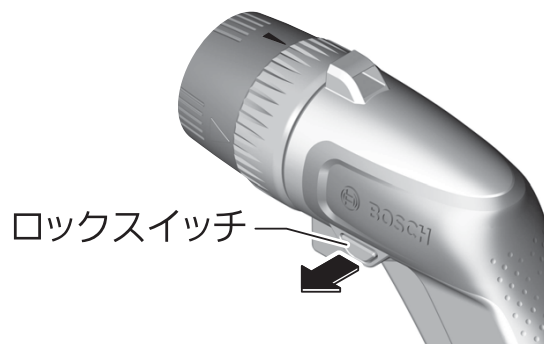


- ◆ 対象物に適した距離で洗浄してください。また、対象物に損傷が生じる恐れがある場合は、目立たない場所で試してから洗浄してください。
- ◆ 最初はノズルヘッド⑭からの距離を離して洗浄し、様子を見ながら近づけて洗浄するなど慎重に作業してください。近づけすぎた場合、破損などの原因になります。





トリガ⑬をいっぱい引き込んだ状態で「ロックスイッチ」を左に押し込むと、トリガ⑬が引き込まれた状態でロックされます。



ロックを解除するときは、トリガ⑬を引き込み直して保持し、「ロックスイッチ」を右に押し込みます。



## 9 洗浄を終了する

トリガ⑬を離すとモーターが直ちに停止し、噴射が止まります。再度レバーを引き込むと再始動します。

## 10 電源を切る

「電源ボタン⑩」を押して、電源を切ります。

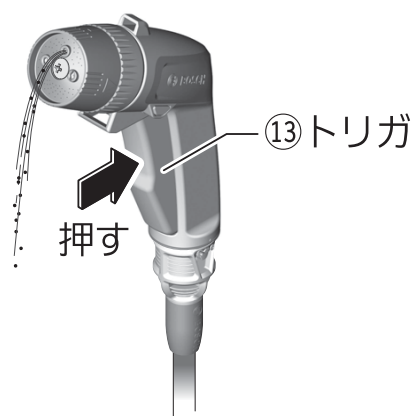


## 11 トリガを引き込む

トリガ⑬を引き込み、圧力と水を抜きます。

噴射口から水が出なくなるまでトリガ⑬を引き込み続けてください。

水が出なくなったら、トリガ⑬を放します。



## 12 噴射用4mホースをコードレス洗浄機本体から取り外す

(29ページ「噴射用4mホースを取り付ける・取り外す」参照)

## バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上)使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

## リサイクルのために

### 使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

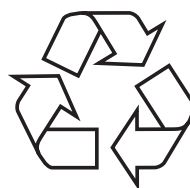
ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。



【<http://www.jbrc.com>】

つ  
バ  
ッ  
テ  
リ  
ー  
に

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



**Li-ion**

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

# お手入れと保管

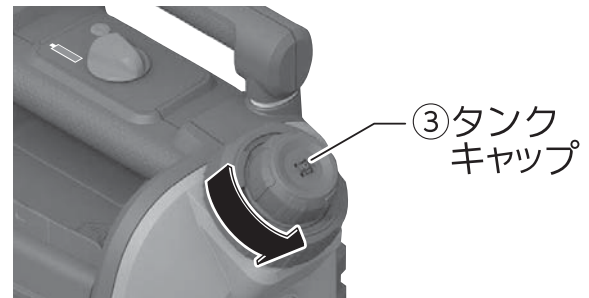


- ◆ お手入れするときや保管するときは、バッテリーをコードレス洗浄機本体から取り外してください。

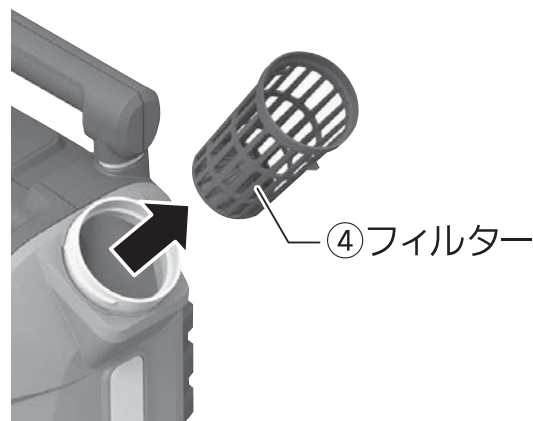
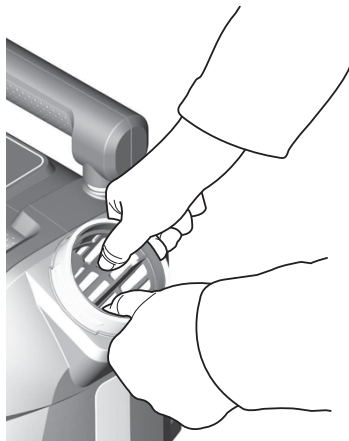
## フィルターの清掃

フィルター④の清掃は、作業終了後に毎回行ってください。  
洗っても汚れが落ちないときは、新品と交換してください。

1. タンクキャップ③を矢印の方向に回して取り外します。



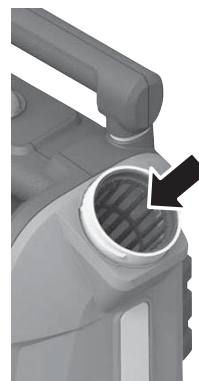
2. フィルター④を取り外します。  
フィルター④の中に左右の親指を入れ、フィルター④を外側に押し付けるようにして少し回しながら引き上げると、取り外せます。



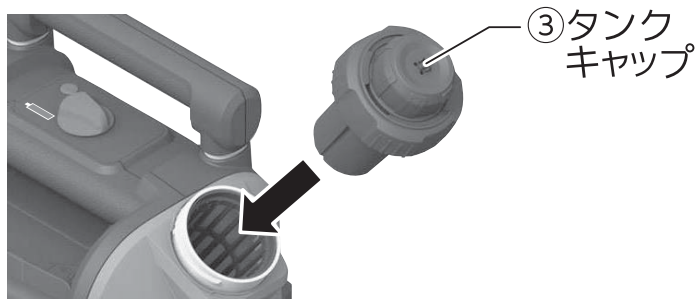
3. 取り外したフィルター④を、流水で洗います。



4. 清掃したフィルター④を内蔵式水タンクの給水口に取り付けます。フィルター④は奥まで押し込んでください。



5. タンクキャップ③を取り付け、矢印の方向に回して締めます。タンクキャップ③は確実に締めてください。



## 運 搬

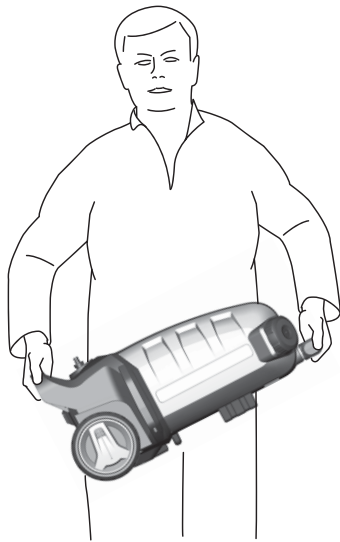


- ◆ 内蔵式水タンクに水が入っていると、コードレス洗浄機は重くなります。  
斜面やステップ上を移動するときは、注意してください。

コードレス洗浄機を移動させるときは、下記を確認してから運搬してください。

- ・伸縮ハンドル②が確実にロックされているか
- ・電源が切れているか

☞ 特に水タンクが満杯のときは注意が必要です。  
コードレス洗浄機本体を持ち上げて移動するときは、伸縮ハンドル②とフロントハンドル⑥を持って持ち上げます。持ち上げるとき、姿勢に注意してください。

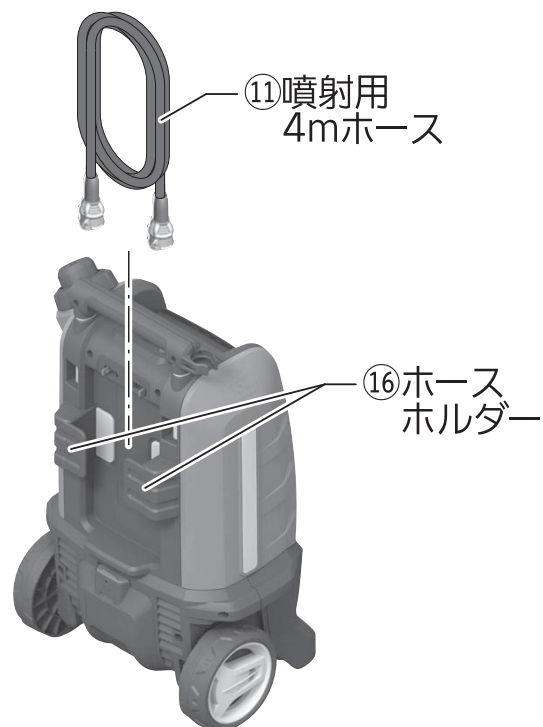


保  
お  
手  
入  
れ  
と  
管

## ● 噴射用4mホースの収納

噴射用4mホース⑪は束ねて、ホースホルダー⑫に収納してください。

- ☞ 噴射用4mホース⑪を束ねるとき、無理に折り曲げたりしないでください。ホースが破損する原因になります。
- ☞ 専用ツイストコネクターからゴミなどが入らないよう、専用ツイストコネクターを下向きにして収納することをお勧めします。

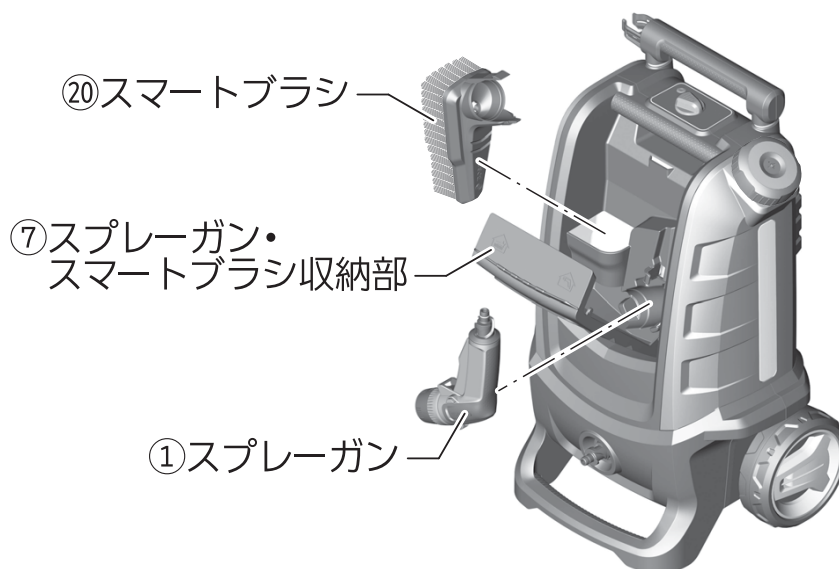


## ● スプレーガン・スマートブラシの収納

スプレーガン①とスマートブラシ⑳はスプレーガン・スマートブラシ収納部㉑に収納してください。

スプレーガン・スマートブラシ収納部㉑を開いて、スプレーガン①とスマートブラシ⑳を収納します。

- ☞ スプレーガン①は、トリガ⑬を引き込みながら収納部にセットしてください。



### ● 使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリーは50℃以上になるところに置かない。
- バッテリーは、-20℃～+50℃の範囲で保管する。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。

### 長期間使用しないとき、または冬季の保管



**注意**

- ◆ 本体や付属品は、ホコリのかぶらない、凍結しない室内に保管してください。  
5℃以下にならない場所に保管することをお奨めします。

1. 伸縮ハンドル②を収納します。  
(28ページ「伸縮ハンドルを引き出す／収納する」参照)
2. 噴射用4mホース①を取り外します。  
(29ページ「噴射用4mホースを取り付ける・取り外す」参照)

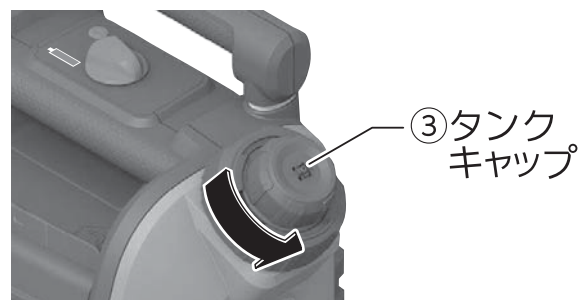


**注意**

- ◆ 保管するときは、ホースをコードレス洗浄機本体から必ず取り外してください。

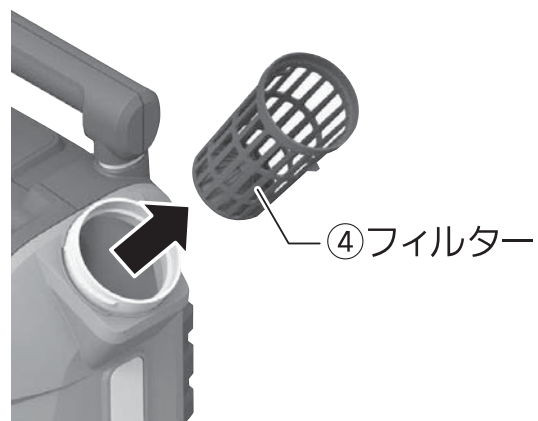
3. 内蔵式水タンク内の水を完全に排出します。

- 1) タンクキャップ③を取り外す。





- 2) フィルター④を取り外す。  
(43ページ「フィルターの清掃」  
参照)



- 3) 内蔵式水タンクの給水口を下に傾けて、内蔵式水タンク内に残った水を排出する。



**注意**

- ◆ 排水が不完全な場合は、ポンプが凍結し破損します。凍結した状態でスイッチを入れると、モーターが破損します。

4. フィルター④を流水で洗います。



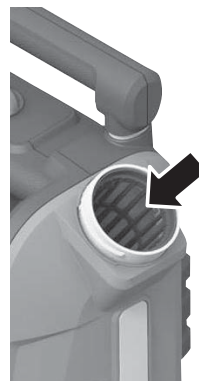
5. コードレス洗浄機本体や噴射用4mホース⑪などの水気、汚れを乾いた軟らかい布で拭き取ります。
6. 内蔵式水タンク内とフィルター④をよく乾燥させます。  
直射日光の当たらない、風通しのよい場所で乾燥させてください。



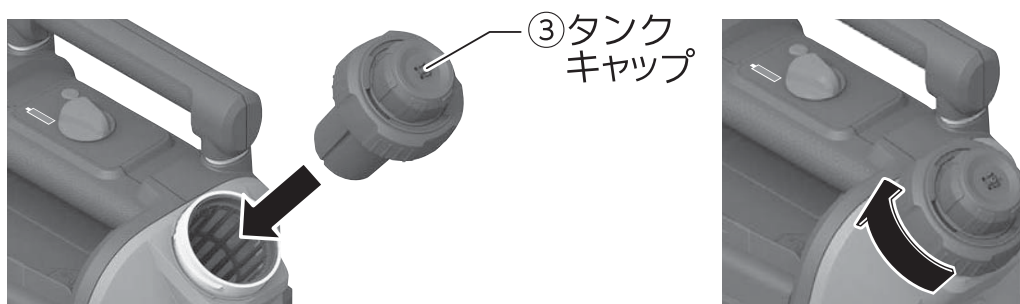
**注意**

- ◆ よく乾燥させないで保管すると、カビやコケが生えたりすることがあります。

7. 清掃し、よく乾燥させたフィルター④を内蔵式水タンクの給水口に取り付けます。



8. タンクキャップ③を取り付け、矢印の方向に回して締めます。タンクキャップ③は確実に締めてください。



9. 5℃以下にならない、ホコリのかぶらない室内に保管します。



**注意**

- ◆ 排水が不完全な場合は、ポンプが凍結し破損します。凍結した状態で電源を入れると、モーターが破損します。
- ◆ 保管するときは、噴射用4mホース⑪を本体から取り外してください。
- ◆ ホコリのある場所に保管する場合は、水出し口⑤にホコリや細かいごみが入らないように保護してください。
- ◆ ポンプ内にごみが混入した場合、本体が正常に作動しなくなります。
- ◆ 噴射用4mホース⑪内に水が残っていることがあります。噴射用4mホース⑪を取り外すときは、ホース内に残った水が自分や周りの人、機械などに掛からないよう注意してください。

保  
お  
手  
入  
れ  
と  
管

## 電動工具(本体)の廃棄について

バッテリー以外の電動工具本体および付属品(充電器など)の廃棄については、各  
地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

# 困ったときは

## 故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
モーターから音はするが 始動しない	長期間使用していなかった	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
	本体内のシステムに異常がある	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
	内蔵式水タンクが空になっている	内蔵式水タンクに給水する
トリガ⑬を引いても作動 しない	バッテリーが消耗している (電子セル保護システムが作動した)	バッテリーを充電するか交換する
	バッテリーの温度が熱すぎる/ 冷たすぎる	バッテリーが適正温度(0~45℃)になるのを待つ
	凍結している	ポンプ、ホース、ノズルなどが解凍するのを待つ
水が出ない	内蔵式水タンクが空になっている	内蔵式水タンクに給水する
	ノズルが詰まっている	ノズルを清掃する
圧力が安定しない	ポンプに空気が入っている	噴射モードを“シャワーモード”、水圧を“強”に設定し、空気が抜けるまでトリガ⑬を引き込み続ける
	ノズルが詰まっている	ノズルを清掃する
	ポンプやスプレーガンから水漏れしている	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する

症 状	原 因	対 処
本体から水漏れする	ポンプから水漏れしている	数滴の水漏れであれば問題ありません。 多量に漏れる場合はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
	噴射用4mホース⑪の専用ツイストコネクタが正しく接続されていない	専用ツイストコネクタを確実に接続する
	タンクキャップ③が緩んでいる	タンクキャップ③を締め付ける
電源が入っている(バッテリー残量表示は点灯している)が、ポンプが動作しない	内蔵式水タンクが空になっている(ドライランニング保護機能が作動した)	一度電源を切って内蔵式水タンクに給水し、再度電源を入れる
トリガ⑬を引き込んでいないのに、モーターが作動する	ポンプ、スプレーガン①または噴射用4mホース⑪の水漏れ	継続的に症状が発生する場合は、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
噴射用4mホース⑪を取り外せない	電源が入っているため、専用ツイストコネクタに圧力が掛かっている	電源を切ってから噴射用4mホース⑪を取り外す
	噴射用4mホース⑪内に空気が入っている	トリガ⑬を引き込んで空気を抜く

## 修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。  
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

### コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。  
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

### ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

### ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407